

10. 吉田地域

(1)地域の概況

◆地域の構成

本市の北部に位置し、河川沿岸や幹線道路沿道の平坦地と丘陵部の住宅団地、森林と山間部の 農村集落で構成されています。

◆人口

人口は、約 | 万人で減少傾向にあり、老年人口比率は 39.4%と桜島地域、郡山地域に次いで 高い状況です。

◆土地利用の状況

地域の大半は「樹林地等」であり、その中に「農地」を含む農村集落が分布しており、丘陵部 の牟礼岡団地や県道鹿児島吉田線沿道に「住宅用地」が分布しています。

(2)基本目標毎の現況と課題



コンパクトで暮らしやすい都市

買い物や医療施設の利便性に対する満足度が低く、集落の中心となる地区の活性化が望まれ ていることから、各拠点への生活利便施設の誘導が必要です。



📖 快適で移動しやすい都市

県道鹿児島蒲生線などの都心部と鹿児島空港や県北部とを結ぶ幹線道路がありますが、一部 に未整備区間が見られるほか、農村集落などでは、公共交通の不便な地域があることから、幹線 道路などの整備や公共交通の確保が必要です。



にぎわいと活力のある都市

雇用の場に対する満足度が低く、産業用地の開発整備が望まれていることから、多様で柔軟な 働き方の実現や、薩摩吉田インターチェンジ周辺の広域交通網の活用や低未利用土地の活用な どによる産業機能の充実が必要です。



💋 安心・安全な都市

河川・排水路の整備に対する満足度が低く、農村地域などでは、土砂災害に対して備えが必要 なエリアが分布することから、災害に強いまちづくりが必要です。



自然・歴史・文化を生かした都市

周辺の山々とこれらの高峰を源とする思川や本名川の渓流など、豊かな自然環境が残されて おり、農地・農業生産環境の維持・保全が望まれていることから、今後も美しい農村景観や豊か な自然環境と調和した良好な環境の維持が必要です。





一団の山林自然環境

【地域の資源】

自然	①花尾山・雄岳周辺の一団の山林自然環境 ②牟礼岡・寺山に連なる山林自然環境
歴史 (史跡など)	③八幡神社 ④金峰神社
まち並み ・景観	⑤本名川、思川沿いに広がる田園風景 ⑥眺望に優れた牟礼岡自然遊歩道 ⑦大口筋白銀坂
公共施設等	⑧吉田公民館 ⑨吉田多目的屋内運動場・吉田文化体育センター ⑩吉田地区保健センター ⑪輝楽里よしだ館 ⑫県立青少年研修センター ⑬県総合教育センター ⑭鹿児島県市町村振興協会自治研修センター



▲ 八幡神社

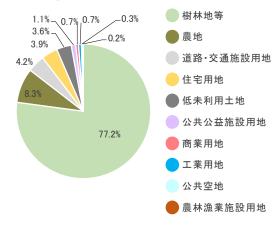
第3章 地域別構想

人口と年齢構成の推移



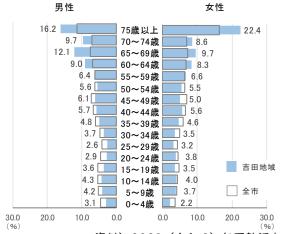
資料) 国勢調査

土地利用面積の割合



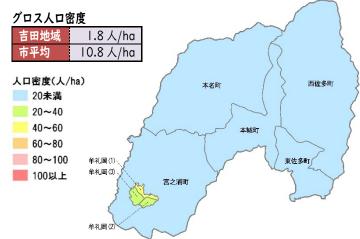
資料) 2018 (平成 30) 年度都市計画基礎調査

人口年齢構成



資料) 2020 (令和 2) 年国勢調査

町丁目別人口密度



資料) 2020 (令和 2) 年国勢調査

■市民意識調査…………

地域の評価

コンパクトで 暮らしやすい 都市	買い物の利便性	-29.1 (10.1)
	医療施設の利便性	-28.0 (15.1)
	公益施設の利便性	2.0 (11.7)
	文化施設の利便性	-20.8 (2.1)
	福祉施設の利便性	-6.6 (2.6)
	鉄道の利便性	-58.2 (4.8)
快適で移動	路面電車・バスの利便性	-46.1 (6.0)
しやすい都市	幹線道路の整備	-8.3 (20.8)
	生活道路の整備	-5.8 (16.4)
レギャハしエ	雇用の場	-31.3 (-10.2)
にぎわいと活 力のある都市	子育ての場	-0.7 (14.8)
1111B @ CO CO CC	高齢者の生活の場	-8.3 (3.8)
	騒音・振動の少なさ	(31.9) 40.9
	日当りや風通し	(45.4) 54.
安心・安全な	降灰の処理	0.7 (13.5)
女心・女主な 都市	火災への対応	(13.2)16.7
HI-11-	自然災害に対する安全性	15.4 (16.8)
	河川・排水路の整備	1.3 (20.6)
	まちの治安や雰囲気	16.2 (28.4)
	自然環境	(35.4) 40.7
自然・歴史・	空気や水のきれいさ	(30.1) 46.1
文化を生かし	街並みや景観のよさ	26.3 (27.5)
た都市	身近な緑の整備	11.8 (21.1)
	公園の整備	-10.9 (12.0)
吉田地域	(全市平均) -6	0.0 -30.0 0.0 30.0 60.0
	不満◀	←

まちづくりの優先事項

コンパクトで 暮らしやすい 都市	既存の住宅団地の維持・活性化	7.7 (9.3)	
	集落の中心となる地区の活性化	(7.7) 14.1	
	住宅や宅地の新たな開発整備・供給	(4.6) 6.4	
快適で移動 しやすい都市	公共交通機関の充実	(37.9)	53.
	地域の道路整備	10.3 (14.6)	
	主要な道路の整備	(12.2) 15.4	
にぎわいと活 力のある都市	中心となる地区の再整備・活性化	15.4 (23.9)	
	産業用地の開発整備	(1.3) 5.1	
安心・安全な都市	防災のまちづくり	12.8 (13.6)	
自然・歴史・	公園緑地やスポ・レク施設の整備	16.7 (19.0)	
	上下水道などの給排水施設の整備	2.6 (3.8)	
文化を生かし た都市	街並み環境や景観の保全・形成	6.4 (15.5)	
に郁巾	自然環境や景観の保全	2.6 (8.1)	
	農地・農業生産環境の維持・保全	(3.2) 7.7	
		0.0 20.0 40.0	60.
		吉田地域 (全	市平

資料) 2017 (平成 29) 年市民意識調査



(3)地域のまちづくり構想



県道鹿児島吉田線沿道などの拠点性の向上と農村集落における生活利便性の確保

- ○大原地区の県道鹿児島吉田線沿道の地域生活拠点では、都市機能の集約による拠点機能の充 実を図ります。
- ○牟礼岡団地の団地核では、生活利便施設の集約による拠点の形成を図ります。
- ○吉田支所や吉田小学校周辺の集落核では、小~中規模の店舗などの誘導による生活利便性の 確保を図ります。
- ○豊かな田園環境を有する農村集落では、良好な集落環境の保全を図ります。



県道鹿児島蒲生線の整備促進などによる交通の円滑化や交通手段の確保による利便性 の向上

- ○県道鹿児島蒲生線の整備促進などによる道路交通網の強化を図ります。
- ○生活道路の整備による交通の円滑化などを図ります。
- ○公共交通の利便性が低い地域では、日常生活の交通手段の確保を図ります。



- ○住宅団地などでは、職住育近接型のまちづくりに向けて働く場などの立地誘導を図ります。
- ○広域交通網の活用による工業・物流などの産業の立地を促進します。
- ○豊かな自然環境を生かし、クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地に向けた土地利 用の誘導を図ります。
- ○吉田文化体育センターなどのスポーツ施設をスポーツ振興・健康づくりの場として活用を図 ります。



浸水や土砂災害などに備えた災害に強いまちづくりの推進

- ○土砂災害への備えが必要な地域では、土砂災害対策を図ります。
- ○思川などの流域では、総合的な治水対策を図ります。
- ○緊急輸送道路を中心とした災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。



農村地域や豊かな自然環境の保全・活用

- ○市民との協働による緑化の促進などによる潤いある都市空間の形成を図ります。
- ○公園の再整備などによる広く市民に親しまれる公園の充実を図ります。
- ○優良な農業生産環境や緑豊かな集落景観の保全・活用を図ります。
- ○周囲を山並みに囲まれた田園風景や、本名川、思川などの河川環境の保全を図ります。
- ○豊かな自然や農地を生かし、グリーン・ツーリズムを推進します。

地域別構想

(4)地域の整備方針

◆整備方針(ゾーン毎)

- ■地域商業・ サービスゾーン
- ●○地域生活拠点や団地核では、拠点機能の充実と拠点の形成に向けて、生活利 便施設の立地誘導を図ります。 🤗
- ■職住共生ゾーン ○ 牟礼岡団地の主要な道路の沿道では、職住育近接型のまちづくりに向けて、 働く場などの立地誘導を図ります。 💼
- 牛活環境保全 ゾーン
- ○低層住宅を中心とした良好な居住環境を維持・保全するため、住民主導によ る地区計画や建築協定などの活用を促進します。 🎇
- ○都市基盤が未整備の住宅地では、生活環境を改善するため、生活道路などの 整備を推進します。
- ○田園環境と調和した土地利用の誘導による良好な居住環境を形成し、一定の 整備水準を確保するため、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。🎮

- ■田園集落ゾーン ○農業生産環境と調和した土地利用を誘導するため、地域北部や東部では、都 市計画区域などの指定について検討するとともに、地域南部では、特定用途 制限地域の活用を図るほか、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。₹
 - ○集落核では、小~中規模の店舗などの生活利便施設の立地誘導を検討しま す。🌉
 - ○クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地を誘導する方策を検討し ます。💼
 - ○薩摩吉田インターチェンジ周辺などの幹線道路沿道では、周辺の集落環境 と調和しつつ、工業・物流などの産業の立地を促進するため、特定用途制限 地域や地区計画などの活用を図ります。
 - ○農村集落の生活環境を改善するため、道路・公園などの計画的な整備を図り ます。🍃
- 自然環境保全・ 活用ゾーン
- ○地域南部では、一団の自然環境を保全するため、特定用途制限地域の活用を 図るとともに、開発許可の規模の引き下げなどを検討します。🔀
- ○地域北部や東部では、田園集落ゾーンと一体となった都市計画区域などの 指定について検討します。
- ○地域を特徴づける歴史資源を生かした自然環境の有効活用を図ります。▶️【
- ■自然公園・ 森林ゾーン
- ○一団の山林自然環境の保全を図るとともに、市民が身近に自然とのふれあ いを深める場として有効活用を図ります。🔀

◆整備方針図



◆整備方針(地域全体)



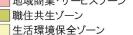
- ・公共空間を多様な用途に活用するための取組の検討
- ・空き家・空き地の民間資源の活用



- ・県道鹿児島蒲生線などの整備促進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保



- ・エリアマネジメントの促進
- ・地域主体による住宅団地の活性化に向けた取組の促進
- ・吉田文化体育センターなどの活用
- ・崖地に近接する住宅への移転促進
- ・急傾斜地崩壊対策事業の推進及び治山事業・砂防事業の促進
- ・思川などの流域における治水対策の推進
 - ・災害時の拠点や災害廃棄物の仮置場としての公共施設等の活用
 - ・危険な空き家等の解体などの促進
 - ・市民や事業者などとの協働による緑化の促進
 - ・公園の再整備や安全対策の推進
- ・民有地の借上げなどによる公園整備の推進
- ・牟礼岡自然遊歩道・輝楽里よしだ館などの活用
- ・合併処理浄化槽の設置促進
- ・河川環境の保全と身近に水辺が感じられる空間としての活用
- ・森林資源の育成・水源かん養のための森林整備



- 田園集落ゾーン ■ 自然環境保全・活用ゾーン
- 自然公園・森林ゾーン
- □ 地域生活拠点
- 団地核■ 集落核
 - 都市計画区域
- □ 別川□ 自動車専用道路・インターチェンジ□ 主要幹線道路